

業績目録（令和2年）

医学生命倫理学

教室・部門名 人文・社会科学教室

(A-b) 和文著書

- 1 八木聖弥. 壬生大念佛狂言年表〔改訂増補〕. 雨猿書屋, 京都: pp1-100, 2020.
- 2 森下直貴, 佐野誠 編著. 「生きるに値しない命」とは誰のことか ナチス安楽死思想の原典からの考察 新版. 中公選書, 東京: pp1-240, 2020.
- 3 森下直貴. システム倫理的思考 対立しながらも、つながり合う幻冬舎メディアコンサルティング, 東京: pp4-6・266, 2020.

(C-b) 和文原著

- 1 瀬戸山晃一. 遺伝子差別と平等—生物的格差と社会的格差の是正—. 法の理論 38 特集「生命医学の発展と倫理的法的社会的問題」. 長谷川晃・酒匂一郎・河見 誠・中山竜一 編. 成文堂, 東京: pp3-24, 2020.
- 2 瀬戸山晃一. 自律にはナッジで十分か? パターナリズム論の視角からみたりバタリアン・パターナリズム. 那須 耕介, 橋本 努 編著. ナッジ!?自由でおせっかいなりバタリアン・パターナリズム. 勁草書房, 東京: pp202-231, 2020.
- 3 八木聖弥. 蘭医大村家伝 (五). 醫譚 111: pp5-17, 2020.
- 4 八木聖弥. 京都府医学校〈第二の危機〉をめぐって. 醫譚 112: pp117-132, 2020.
- 5 八木聖弥. ショイベ講述『察病入門』(1). STUDIA HUMANA et NATURALIA 54: pp43-70, 2020.

(D) 学会発表

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 峯村優一, 景山千愛, 河原直人, 吉井健悟, 今井浩二郎, 吾妻知美, 松山琴音, 瀬戸山晃一, 日本の医学研究環境の把握に向けた SORC 質問の改良. ポスター発表, 第5回研究倫理を語る会, 2020/2/29 (コロナウイルス蔓延のため中止), 国内. (下記 URL にて抄録の記載有

<https://ww2.med-gakkai.org/katarukai5/img/shoroku.pdf>

- 2 吉井健悟, 峯村優一, 景山千愛, 瀬戸山晃一, 倫理的意思決定テストで誤回答が多かった医学研究者の属性とは?, 口頭発表 (オンデマンド配信), 第 32 回日本生命倫理学会, 2020/12/5-, 静岡.

E 研究助成 (競争的研究助成金)

総額 25,686,152 円

公的助成

代表 (総額)・小計 25,588,476 円

分担 (総額)・小計 97,676 円

- 1 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 研究公正高度化モデル開発支援事業 平成 31~令和 3 年度
学際的アプローチによる研究倫理教育のモデル評価プログラムの開発と検証 助成金額 20,671,259 円
- 2 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 社会技術研究開発センター (RISTEX)
科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題 (ELSI) への包括的実践研究開発プログラム 令和 2~2 年度
遺伝子差別に対する法整備に向けての方政策の現状分析と考察 助成金額 4,917,217 円
- 3 科学技術振興機構 基盤研究 (C), 令和 2~6 年度
医療における因果特定の方法論の科学哲学的解明 助成金額 77,256 円
- 4 科学技術振興機構 基盤研究 (C), 平成 30~令和 2 年度
LGBTQ の人々の互助関係の研究——超高齢社会のコミュニティ形成の一モデルとして 助成金額 20,420 円